環境経営レポート

2024年度版

2024年9月～2025年8月

1. 会社概要

2. 対象範囲

3. 環境経営方針

4. 実施体制図

5. 環境目標 及び 実績

6. 環境活動計画の取組結果
   評価 及び 今後の取組

7. 環境関連法規等の遵守状況
   確認 及び 評価
   違反・起訴等の有無

8. 代表者による全体評価と
   見直し結果



発行日／2026年　1月　7日

株式会社 エムエスアート

1. 会社概要

■ **商　号**　株式会社 エムエスアート

■ **所在地**　〒150-0011
東京都渋谷区東 3 丁目 24 番 1 号
TEL : 03-3400-1096
FAX : 03-3409-4786
mail : mail_1@msart.co.jp
URL : http://www.msart.co.jp/

■ **創　立**　昭和 36 年 12 月

■ **資本金**　3,800 万円

■ **代　表**　代表取締役　小幡 彰子（オバタ アキコ）

■ **環境管理責任者氏名 及び 担当者連絡先**

＜環境管理責任者 及び 担当者＞
営業部　小堀 幸比古（コボリ ユキヒコ）
TEL : 03-3400-1096
mail : mail_1@msart.co.jp

■ **業務内容**　サイン(案内看板等)の企画・デザイン・製作・施工
・スクリーンプロセス（シルク印刷）
・マーキングフィルム加工
・大型インジェット出力
・表示のデザイン、データ作成
・その他、サイン製作全般
・各種サインの取付、設置

■ **事業規模**

活動規模	単 位	2024年度
従業員数	人	16
延床面積	㎡	495.69

■ **許可・認可**　一般建設業 東京都知事 許可 (般 -18) 第 127458 号
東京都屋外広告業登録 都広 ( ) 第 646 号
認可第 2 号 都民の健康と安全を確保する条例 認可工場

■ **所属団体**　公益社団法人 日本サインデザイン協会
全日本屋外広告業団体連合会
屋外広告美術協同組合

2. 対象範囲

■ **事業活動**　印刷・サイン(案内看板等)の企画・デザイン・製作・施工

■ **認証・登録範囲**　本社

3. 環境経営方針

■ 環境経営方針

株式会社 エムエスアートは、「**環境と人との対話を演出する**」を常に一貫したテーマとして取り組んでおります。
企画・デザインから印刷までの事業活動において、可能な範囲で最大限の「**省エネルギー化**」「**省資源化**」「**廃棄物の削減**」に努め、豊かで安全な環境に優しい企業を目指し継続的な改善活動を行うことを基本方針とします。

■ 行動指針

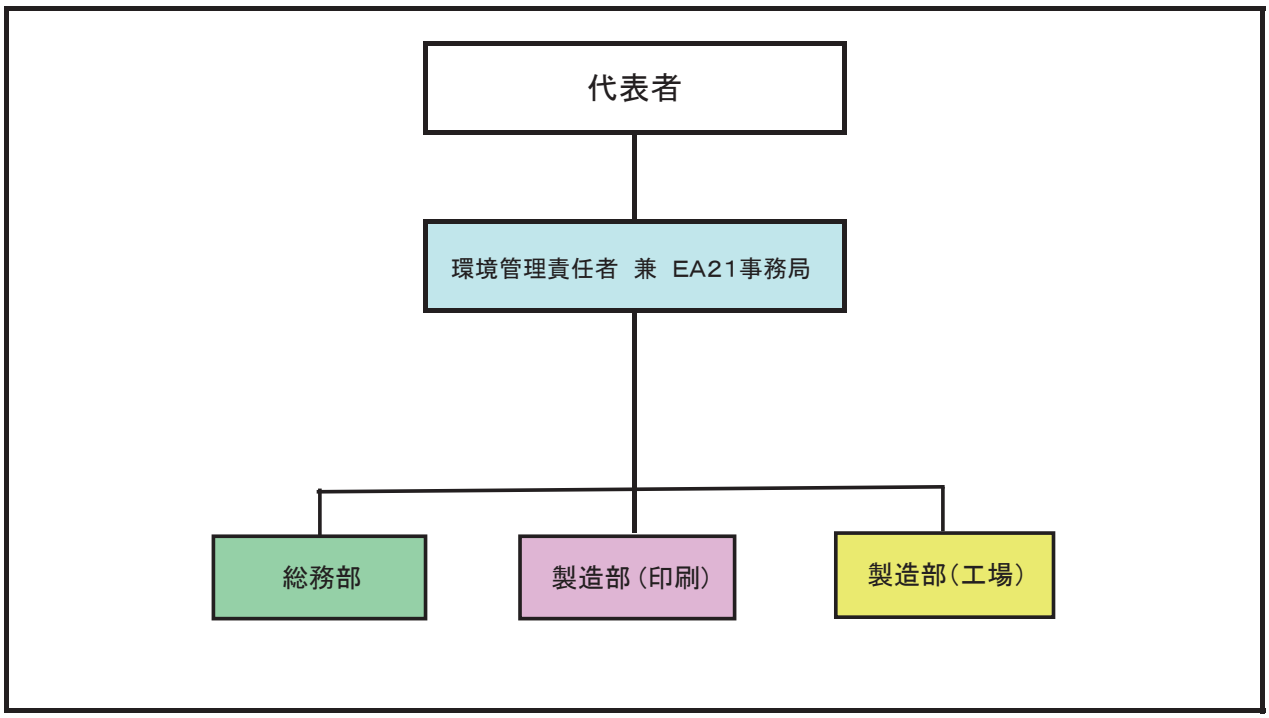
（1）環境関連法規、条例、規制、協定を遵守します
（2）二酸化炭素排出量の削減と省エネルギー化に取り組みます
（3）廃棄物の削減に向けて、廃棄物の管理・適正処理に努めます
（4）印刷インキや製版薬剤等、化学物質の適正管理に努めます
（5）生産工程でのロス撲滅に努めます
（6）グリーン購入を推進し、環境に配慮した調達を進めます
（7）この環境方針を全従業員に周知し、環境保全への意識向上に努めます

2022 年　4 月　13日制定
株式会社 エムエスアート
代表取締役
小幡彰子

4. 実施体制図

株式会社 エムエスアート

エコアクション21組織図



	役割・責任・権限
代表者	・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・環境管理責任者を任命　　・経営における課題とチャンスを明確にする ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する（代表者からＥＡ２１の権限を委任） ・実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ・環境目標・環境活動実施計画書/実績表の作成 ・教育・訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境活動レポート作成 ・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
EA21事務局 （推進委員会）	・ＥＡ２１の推進（環境管理責任者の指示を受けて） ・環境への負荷及び取組チェック実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施 ・環境関連文書・記録の管理
総務部 製造部	・外部環境情報の窓口（総務部） ・環境目標及び環境活動計画の実施・確認・評価、達成状況の報告 ・環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理 ・実施上の問題点の是正・予防処置実施
全従業員	・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・ＥＡ２１で決められた各自の役割を実施

5. 環境目標 及び 実績

当社の事業活動における環境負荷を「環境負荷チェックリスト」にて把握し、
下記の項目を環境目標として策定しました。
詳細内容及び実績は下記の通りです。

環境目標		2023年度【基準年度】	2024年度			2025年度	2026年度
目標		年度実績 2023年9月～2024年8月	目標値 前年度比 （1%減）	年度実績 2024年9月～ 2025年8月	目　標 達成率 （%）	目標値（%減）	目標値（%減）
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 （単位：kWh）	51,651	51,134	51,439	99%	1%	2%
	自動車燃料の削減 （単位：ℓ）	2,148	2,129	2,191	97%	1%	2%
	二酸化炭素／合計 （単位：kg-CO2）	25,127	24,875	25,144	99%	1%	2%
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 （単位：kg）	3,450	3,416	3,310	103%	1%	2%
	プラ廃棄物の削減 （単位：kg）	5,750	5,693	8,300	68%	1%	2%
排水量削減	水道水の削減 （単位：㎥）	182	180	173	104%	1%	2%
備考欄	※基準年度は、2023年9月1日～2024年8月31日 ※電力の排出係数は、令和6年 7月19日公表「電気事業者別排出係数／東京電力エナジーパートナー(株)」の 調整後の排出係数「0.390kg-CO2/kWh」に基づき計上しております。						

6. 環境活動計画の取組結果　評価 及び 今後の取組

エコアクション21の取組みで社員の環境意識は向上し、
目標を「達成した・達成できていない」を数値を通して確認することができました。
良き部分・改善する部分を検討し、今後の活動を進めていきたい。

	環境目標	環境活動計画の取組項目	評価 及び 今後の取組等
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	① 空調温度の適正化 ② 空調機の可動台数の調整 ③ 空調機の定期清掃 ④ 不要照明の消灯 ⑤ クールビズ・ウォームビズの励行	結果として目標値には達していないが 使用量削減に向け意識的に活動出来た事を評価する 今後も「節電」への意識向上を保ち、 目標掲げ次年度も活動を継続していける様、 引続き計画を実施していきたい
	自動車燃料の削減	① エコドライブの徹底 ② 急加速・急停車の防止 ③ 駐車時のアイドリングストップ ④ 過度な積載防止 ⑤ 定期点検の実施	受注内容により変動する数値であるので数値だけ見ると 増加しているが、使用量削減に向け意識的に活動出来た 事を評価する 今後も目標を達成出来る様、「使用量削減」への意識を 高め、引続き計画を実施していきたい
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	① 分別回収ボックスの設置 ② 印刷物の必要最小限化 ③ 詰め替え可能な製品の購入 ④ 梱包材の再利用 ⑤ PET ボトル等の圧縮廃棄	受注内容により変動する数値である 廃棄量は少し減少し、目標を達成する事が出来た 削減に向け意識的に保たれていた事は評価したい 今後も目標を達成出来る様、「排出量削減」への意識を 高め、引続き計画を実施していきたい
	プラ廃棄物の削減	① 残余材料の発生を防止 ② リサイクルの推進 ③ 適正な処理業者への委託 ④ 廃棄物管理票による適正処理 ⑤ 廃棄物の最終処分先を確認する	一般廃棄物と同じく受注内容により変動する数値である 9月に一定期間ためて廃棄する産廃の排出があり増加したが 削減に向け意識的に保たれていた事は評価したい 今後も目標を達成出来る様、「排出量削減」への意識を 高め、引続き計画を実施していきたい
排水量削減	水道水の削減	① 節水の励行 ② 水圧を低めに設定 ③ 適正水量を使用 ④ トイレの擬音装置使用 ⑤ 清掃時での節水工夫	基準年と比べ数値的には目標を達成する事が出来た 使用量減少に向け活動が保たれていた事も含めて 大いに評価したい 目標を達成する為に引続き計画を実施していきたい
環境配慮	事務用品 グリーン購入	① グリーン購入対象品目の調査 ② 環境配慮した物品等の購入	2024年度　グリーン購入総額　＜**￥2,332**＞ 意識的にグリーン購入対象品目の調査・購入を するようになり、取組は良好である 引続き計画を実施していきたい
化学物質の管理	化学物質の適正管理	① 化学物質の管理手順に従う ② SDS による適正管理 ③ 移動量・排出量の把握 ④ 溶剤は小分にし、適正な量を使用 ⑤ 溶剤の溢れ・漏れ・密閉の確認	取組は良好である 引き続き管理体制と意識を高めて適正管理に努めたい 適正管理に努めたい
環境配慮製品の検討	環境を配慮した 印刷工程の検討	① 環境負荷の少ない洗浄剤・インキ の検索および調査 ② 印刷インキの洗浄紙等、 再生資源商品等の検索および調査	環境負荷の少ない洗浄剤等を検索し該当製品とそのSDSを 確認した 実際に試した結果、使用面や価格帯を含め現状の製品より 向上が望めないが調査した行動は大いに評価したい 引き続き環境負荷の少ない商品等の検索および調査に 努めたい

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び 評価 並びに違反・起訴等の有無

当社に適用される環境関連法規等については、
年度末に遵守状況を確認しております。
主な環境関連法規等は下記になります。

・廃掃法
・化管法（PRTR制度）
・東京都環境確保条例（化学物質の適性管理）
・フロン排出抑制法

エコアクション21の審査において、
指摘された事項については速やかに対応しています
また、関連当局からの違反などの指摘・訴訟は過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直し

社員の協力により、概ね目標を達成することができました。
エコアクションの仕組みや取組方を各個人が理解し、考え、行動に移せたことが
環境活動・環境経営に向けて、良好な変化を生み出したものと考えております。
今後とも必要な改善事項については社員の教育や周知の徹底を図り、
社内間のコミュニケーションを密して情報共有を行うなど
「**目標**」に対し「**行動**」して「**達成**」することを活動の軸として歩んでまいります。

以上